

特集

明浜町の水産業

17

意見書七本提出 定例会 ④

事業仕分けの影響は 質疑 ⑥

観光達人から地域リーダーを 常任委員会 ⑦

口蹄疫の心配は 一般質問 ⑩

スポーツクラブ結成を目指して 市民の放課後 ⑭

第25号  
6月  
定例会  
2010

2010.7.20発行



西予市操法大会

西予議会だより 第25号 <http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai.html> E-mail [gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp](mailto:gikai-chousa@city.seiyo.ehime.jp)

西予市の子どもたち



通学合宿(明浜町)

わが町の取って置きのスポット



愛宕山展望台から(野村町)



未改良道路



改良された新道

バス1台がやっと通れる未改良道路と、トンネルの開通によって利便性が大幅に改良された新道。子供たちの通学の安全性が確保された。

思い出のアルバム

三瓶町

編集委員の眼

中山間地域の水田農業に学ぶ

城川町田穂集落は、戸数69戸、人口215人、準農村地帯、ほ場整備も昭和56年に着工される等、中山間地農業の先進地でもある。広い畦畔の労力軽減を進めるため、「芝生」化に取り組まれる等、様々な工夫がなされている。一方高齢化も進み、水路の維持管理が大変で、何とかならないか、集落の英知を結集2千480m水路のパイプラインに取り組み、平成21年に見事に完成した。対象水田面積は35ha、この完成によって、水管理労力は大幅に軽減された。35haの美田は、孫末代まで永遠に営まれるであろう。西予市の中山間地農業の手本でもある。田穂地域は、伝統の虫送り行事「実盛送り」を平安時代から受け継いでいる。

日本の棚田百選や日本の里(田園風景)百景に選ばれる等、集落ぐるみで、村づくり運動に取り組んでいる。



実盛送り

編集後記

夏の高校野球県大会が始まります。特に、春の県大会優勝校・野村高校の「甲子園初出場」が期待できます。

今回の編集委員は、平均年齢が少し？上がりましたが、やる気は満々です。よろしくご愛読願います。



- 編集委員
- 委員長 大竹 忠盛
  - 副委員長 宇都宮 明宏
  - 委員 兵頭 学
  - 委員 井上 勲
  - 委員 沖野 健三
  - 委員 酒井 宇之吉



# 伝統のどろんこ祭・豚のロデオ中止 6月定例会でも2人が一般質問

いつどこに飛火するかわからない厳しい状況が続いている「口蹄疫」対策、西予市六月定例会でも、二人が登壇し理事者の対応策を質(た)した。伝統ある「どろんこ祭り」や「豚のロデオ」も中止となった。関係者の苦汗の決断を思うと心が痛む。四国でも有数の畜産団地を抱える西予市、目に見えない恐怖との戦いの日々が続く。宮崎の畜産農家の心情を察すると、何とか早く終息してほしい。この議会、たよりの、市民の皆さんの手元に届くころには、飛火せずによかったなと、喜び合えることを祈りたい。

## 口蹄疫の防疫対策強化を求める意見書(国に提出することを議決)



多くのファンが待っていたが

去る4月20日に宮崎県で発生した口蹄疫については、地元畜産農家を

じめ国及び宮崎県並びに関係市町村や農業団体等が一体となって懸命の防疫対策に努めているが、依然として沈静化の目処は立っておらず、畜産農家の不安の高まりとともに、事態の長期化が懸念されている。四国最大の畜産県であり日向灘を挟んで隣接している本県では、宮崎県での発生を機に九州から上陸する全車両の消毒をはじ



さんばい卸し

め、牛・豚等の偶蹄類飼養農家に対する消毒剤の配布など口蹄疫の侵入防止に向けた水際対策を強化しており、さらに万が一県内で発生した場合に供えた初動防疫体制を組織・資材の両面から整備しているところである。

このような中、国においては、口蹄疫対策特別措置法を全会一致で成立させ、各種の対策に取り組まれていくところであるが、事態の長期化に伴って周辺県をはじめ全国各地で実施されている防疫対策等に係る経費の増大や家畜市場のせり市の延期等、その影響は広がりを見せており、早期終息に向けた取り組みが喫



楽しいイベント中止

緊の課題となっている。よって、国におかれては、口蹄疫の一日も早い終息と我が国の畜産業を守るため、早急に以下の措置を講じられるよう強く要望する。

記

一 新たに制定された口蹄疫対策特別措置法も含め、一日も早く宮崎県の事態が終息するようあらゆる対策を強力に押し進めること。

二 発生以降、全国各地の自治体や農業団体等が実施している防疫対策に対して十分な財政支援措置を行うこと。

三 防疫活動に必要な家畜防疫員を確保するための獣医師養成及び万一の発生に備えた消毒薬等必要資材の備蓄について、国として責任を持った措置を講じること。

愛媛県西予市議会

【提出先】

衆議院議長 横路孝弘  
参議院議長 江田五月

# 口蹄疫飛火心配



元気いっぱいの豚たち

乳用牛		肉用牛		養豚	
飼養戸数	総頭数	飼養戸数	総頭数	飼養戸数	総頭数
81	3,829	115	8,332	30	45,024

畜産農家の声  
同じ仲間の苦悩を思うと忍びない、気持ちには宮崎に行つて支援したい。我が子のように手塩にかけて育てた牛を見殺しにしなければならぬ。あとは言葉にならなかつた。(電話取材)

## 口蹄疫防疫の取組について

西予市は、現在牛が約1万2千頭、豚が約4万5千頭飼育され、西予市の農業生産額の約半分を畜産業が占めており、西予市の基幹産業です。もし西予市に口蹄疫が侵入してきたら、畜産業は壊滅的な被害を受けることが考えられます。

愛媛県では、九州方面からの口蹄疫の侵入防止を図るため、八幡浜港、三崎港、松山観光港において、車両の消毒が実施されています。

西予市におきましても、JA東宇和を本部として、口蹄疫ウイルスの侵入防止対策を充実・強化し、愛媛県及び西予市の畜産を守っていくことを目的に



大野ヶ原放牧

口蹄疫とは…牛や豚などの偶蹄類(ひづめが偶数)と呼ばれる動物がかかる伝染病です。

「口蹄疫侵入防止対策本部」を立ち上げ、消毒剤の配布や口蹄疫に関する研修会、市民の皆様への口蹄疫に関する協力依頼等、様々な活動を実施しております。

また、西予市内に発生した場合の口蹄疫現地防疫対策マニュアルを愛媛県の指導のもと作成中です。

口や蹄に水ぶくれができるのが特徴です。発熱や多量のよだれを流し、食欲がなくなったりします。

子牛や子豚は死亡することもありますが、成長した家畜では、死亡率は数%です。しかしウイルスの感染力が非常に強いので、病気をうつさないために病気の発生した農場の牛や豚は、すべて殺処分して埋めてしまわなければなりません。人が牛肉や豚肉を食べたり、牛乳を飲んだりしても口蹄疫にかかることはありません。



野村にある県の畜産研究所

## 条例改正

- 一、西予市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
  - 一、西予市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
  - 一、西予市職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例制定について
  - 一、西予市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について
  - 一、西予市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 以上五条例改正を原案可決しました。



# 意見書七本を提出

地方議会の権限として地方自治体における諸事項を議決し、国の関係行政庁に対して「意見書」を提出することができるため、本定例議会では7本の意見書を提出した。紙面の都合で、骨子のみの内容を掲載します。

## 永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書

我が国には、永住権を持つ外国人が約91万人生活しており、地域に密接な関係を持つに至っていることから、これまでもしばしば、永住外国人に対する地方参政権付与について議論がなされてきたところである。

日本国民ではない永住外国人に対し、地方公共団体の議会の議員及び長の選挙権等を付与することは、憲法上問題があると言わざるを得ない。

一方、国籍法は、第4条において、「外国人は、帰化によって、日本の国籍を取得することができる」と規定しており、この国

籍法に定める帰化によるべきものとする。

## 反対討論

公明党 二宮 一郎

資源を持たない国日本が平和と繁栄を維持し、世界に貢献していくには内向きなナショナリズムでは世界に理解をされない。日本国憲法の理念に基づく人権・地方分権・多文化共生の人道大国を歩む以外に活路はない。平成7年の最高裁判所の判例から、永住外国人への地方参政権付与の法制化を憲法違反と断じることは到底できない。

## 賛成討論

総務常任委員会副委員長 井上 勲

永住外国人に地方参政権を与えることが、日本にとって、果たしていることなのか、日本の政治は日本人の手によって行わなければならない。これに参加して、意思決定を行うことには賛成できない。

## 夫婦別姓制度の拙速な導入に反対する意見書

選択的夫婦別姓制度は、婚姻時に夫婦が同姓又は別姓のどちらかを選択できるものであり、現行民法が定める夫婦・親子同姓の原則を壊すものである。婚姻制度や家族のあり方に重大な影響を及ぼし、社会的混乱を招く恐れのある夫婦別姓制度を導入することのないよう強く要望する。

## 本州四国連絡高速道路の無料金制度の見直しを求める意見書

他の高速道路と比べ極めて割高な料金となっており、そのことは、観光振興や産業振興などによる四国発展の大きな阻害要因となっている。一 本州四国連絡高速道路を含む高速道路の料金については、地域間格差を是正する全国一律の料金制度とすること。二 しまなみ海道周辺の住民について、負担の増

大する制度を見直すだけでなく、現状より負担が軽減できるよう適切な措置を行うこと。

## 持続可能な森林経営の推進を求める意見書

森林・林業・木材産業は、かつてない厳しい状況に置かれており、森林の持つ公益的機能の高度発揮をはじめとする国民の多様な要請にこたえていくためには、森林の適正な整備はもとより、林業の持続的かつ健全な発展、木材の供給や利用促進等に係る施策の総合的・計画的な推進が必要であること。



見事に整備された間伐林

一 地球温暖化を防止するため、現在の省エネ分野に加えて、二酸化炭素固定量に着目した国産材利用に応じた住宅エコポイント制度を創設すること。

二 木質バイオマスのエネルギー利用を促進するため、実用化技術の早期開発と施設整備等への支援を行うこと。

三 以上の措置がより効果的・効率的に実施されるよう、これらを取り扱う関係法令等の規制緩和や税制面での優遇など必要な措置を講ずること。

平成22年第2回西予市議会定例会 会期6月17日～6月29日

## 地方自治法第九十九条に基づき、衆議院議長・参議院議長、内閣総理大臣を初め関係各大臣に

西予市議会議長 岡山 清秋



岡山議長

森川副議長

去る五月二十八日の臨時会におきまして、議長に就任致しましたが、日を重ねる毎に、その責任の重さを実感しております。本市は、県下で2番目の広さを有し、緑あふれる豊かな自然が息づいています。しかし、進む少子・高齢化、そして過疎化による限界集落の増加などで行財政は、大変厳しい環境にあると言えます。このような状況のなか、議会としましても地域の多様な民意をくみあげ、施策に反映できるよう、微力ながらも日々努力を重ねて参る所存でございますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

## 公立高等学校授業料不徴収交付金算定方法等に係る制度見直しを求める意見書

「公立高等学校に係る授業料の不徴収及び高等学校等就学支援金の支給に関する法律」により、今年度から公立高等学校の授業料が無償化され、これまで地方公共団体が徴収していた授業料に相当する額を国が「公立高等学校授業料不徴収交付金」として負担することとなった。

授業料無償化制度のような全国的かつ恒久的な施策を講じる場合には、国の責任において必要な財源を全額確保すべきであり、地方負担が生じないよう配慮すること。

## ばらまき政策を排し、財政の健全化を求める意見書

国と地方を合わせた長期責務残高が今年度末に862兆円に達するなど、危機的な状況にある。歳出と歳入を一体的に改革し、財源の裏付けのある社会



三瓶高校



野村高校



宇和高校

保障制度を確立することが急務である。

一 年金、医療、介護などの社会保障制度をさらに充実させるため、経済状況の好転を前提に、税金の無駄遣いの撲滅に向けた取組の状況を踏まえつつ、早期に消費税・地方消

費税を含む税制の抜本改革を行うこと。二 健全財政の維持を内閣の責任とする「財政責任法」を法制化し、「恒久政策」には「恒久財源」の原則を確立すること。

三 国家公務員の天下りの根絶、独立行政法人などの税金の無駄遣いの撲滅など、徹底した行政改革を行うとともに、国家公務員人件費を2割削減すること。



総額1億5千588万9千円補正

主な事業

エルタックス運営事業	223万円	市道改良事業	429万円
公共交通活性化対策事業	420万円	公営住宅管理事業	187万5千円
限界集落対策事業	462万円	消防団整備準備事業	149万5千円
観光達人育成事業	1千297万1千円	常備消防施設整備事業	1千534万4千円
農地利用状況調査費	75万円	小学校施設耐震化事業	1千341万6千円
農作物被害対策事業	200万円	中学校施設耐震化事業	443万6千円
畜産公共事業	運営促進事業	重要伝統的建造物群保存地区推進事業	866万8千円
耕作放棄地発生防止	緊急整備事業		
無菌培養施設運営事業	1千133万4千円		
城川農産物加工センター管理運営事業	180万円		
グリーン・ブルーツーリズム支援事業	100万円		
かけ崩れ防災対策事業	315万円		

# 質疑

## 補正予算

**問** 耕作放棄地発生防止緊急整備事業1千133万4千円は何力所の工事か



休止中のわんぱくランド(野村)

**産建** 昨年の事業仕分け部長で中止となりましたが、今回、愛媛県の補助事業で実施することになりました。場所は宇和町小原(排水と練り石積)、野村町岡成(暗渠排水)、岡成上舗装、城川町成排水と練り石積、男河内練り石積、棟遊子ほ場整備三瓶町安土練り石積の計7カ所です。

**問** 下宇和診療所維持管理事業6万9千円は  
**福祉** 平成11年明間診療部長所は閉鎖したが、医師住宅を市民に貸しており、市営住宅と同じ考えでケーブルTV加入工事負担金を支出するものとす。

**問** 簡易水道事業で施設の資産は  
**公営** 基本的に市の資産部長です  
**観光** 達人育成事業の説明・グリーン・ブルーツーリズムの内容・下宇和地区集落排水事業中止の理由と対策についての質疑が行われたが、この内容については産業建設常任委員会の報告書をご覧下さい。

**問** わんぱくランド開園当時の利用者数と休止前の利用者数の状況は  
**産建** 平成4年開園当時部長年間約2万人来園者があり、以後少しずつ減少し平成20年には3千人になりました。平成21年5月以降危険カ所があるため休止としております。

**問** 三瓶地区のケーブルTV加入は八西と西予を個人で決めるのか  
**総務** 八西は平成27年3部長月まで同軸ケーブルで放送を継続するので、三瓶地区の住民は選択の余地があります。また、放送法の関係でも個人の判断で決めていただくようになります。

**グリーン・ブルーツーリズム**とは、都市の人々が農山漁村の民宿やペンションに宿泊滞在して地域の生活や体験を通じて人的交流を行い、ふるさとの風景を楽しむ余暇活動のことを言います。



ケーブル敷設

# 総務常任委員会 集落応援隊増員!

## 補正予算

### ◇限界集落対策

「西予市集落応援隊」の隊員1名増員分の経費と応援隊員の研修費及び生き生き集落作り等、新たに川津南地区を指定した。

今後は、指定集落を拡大し「集落づくり計画」の策定により集落の困りごと・やりたいことが具体的に現れてくるので施策を効果的に打ち出すことが出来ると考えています。

### ◇教育費

小中学校耐震化耐震性が低いと診断された屋内運動場の耐震補強設計の委託料に係る経費対象小学校は、石城小・野村小中筋小・河成小遊子川小・高川小の6校と

野村中学校  
屋内運動場  
技術教室棟

### ◇総務費

(パソコン)業務用デスクトップ  
研修・申告用ノート(プリンター)  
申告用プリンター等の購入

### ◇CATV事業

野村町横林・惣川地区と城川町(全域)の第12工区と第13工区の光伝送路施設整備



武道場(宇和中)

## 条例改正

### ◇武道場開設

「西予市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正」

宇和中学校体育館の武道場新設に伴い学校施設の開放による使用照明料込み1時間150円とし平成22年7月1日から施行。使用する武道剣道・柔道合気道・少林寺の4武道

## 所管調査

消防団分団詰所新設各方面隊より強く要望されていた老朽化著しい雨漏りのひどい詰所の新設、

野村分団第4部  
城川魚成分団第1部  
城川魚成分団第6部  
の3ヶ所で経済危機対策緊急交付金の活用  
野村中学校グラウンド芝生化  
目にやさしく癒しにつながる素晴らしい出来ば

## 陳情

「永住外国人の地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出に関する陳情書」

採択

採択



消防詰所(魚成分団第6部)



総務常任委員会メンバーです

- 総務常任委員会  
委員長 菊地ミズギ  
副委員長 井上 勲  
松山 昭義  
元親 清秋  
沖野 健三  
松島 孝志  
松山 義幸  
清



厚生常任委員会

俵津診療所存続の陳情（継続審査）

補正予算

◇一般会計

惣川高齢者生活福祉センターのキュービクルが取替えとなっているが、その耐用年数は、耐用年数は10年から15年で、交換時期は業務を委託している民間会社の点検報告によります。

市内の各施設の条件にもよるが、耐用年数や機器の状態を調査研究して交換等を行い、経費削減に努めるよう意見がありました。

西予市の生活保護世帯数と動向は、現在の世帯数256世帯、支給額約4億7千万円強で今年4・5月の2ヶ月間で11件の申請があり、相談数も増加傾向にあることから、現在の経済状態が影響しています。

特別会計

◇介護保険

介護給付費準備基金の現況と今後は、平成22年4月1日現在の残高で、2億2千500万円となっており、この基金が減少すれば保険料の増額もやむを得ません。



宇和病院

保育園民営化の答申後の進捗状況は、

今後は民営化の基本方針を児童福祉施設民営化検討委員会で協議します。

◇簡易水道  
簡易水道を実際に管理している各水道組合と西予市とで一見解が持てているのか

地元が実施する事業及び修繕等の補助については周知しているが、今後地域の実情に応じ維持できるよう、関係水道組合との連携をこれまで以上に密にしていきます。

所管調査

◇病院事業

宇和・野村両病院で見交換を行い、医師不足が恒常化しており、激務に耐えられず精神的・肉体的に限界が来ているとのことでした。

新病院には、症例数の増加、機器の充実、各研修病院の指定等、働く環境の整備をして魅力ある病院づくりを行い、医師確保をしなければ今後の地域医療が崩壊しかねないとの意見がありました。

陳情

「俵津診療所存続について」  
継続

平成22年3月5日に答申が提出され、明浜地域住民に対し、明浜地域診療所の現状と西予市診療所の状況について、説明する機会を設けると明記されている。

現段階では、その機会が設けられておらず、今後地域住民への説明会等を踏まえたうえで審査していく必要があるので継続審査と決定しました。

不採択の意見書8件

「人権侵害救済法の成立に反対する意見書の提出に関する陳情書」

「子ども手当の廃止を求める意見書の提出に関する陳情書」

「乳幼児の細菌性髄膜炎に対するヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの陳情書」  
「乳幼児の細菌性髄膜炎に対するヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの陳情書」

公的助成、定期接種化を求める意見書採択に関する陳情書」

「子宮頸がんワクチンの公的助成を求める陳情書」

「子宮頸がんワクチンの公的助成を求める意見書採択に関する陳情書」

「高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の公費負担金を求める陳情書」

「高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の公費負担金を求める意見書採択に関する陳情書」



厚生常任委員会メンバーです

厚生常任委員会  
委員長 藤井 朝廣  
副委員長 兵頭 竜  
委員 梅川 光俊  
兵頭 勇  
酒井宇之吉  
浅野 忠昭  
森川 一義  
宇都宮明宏

産業建設常任委員会

観光達人から地域リーダーを！

補正予算

観光達人は可能か？

観光達人育成事業1千297万1千円は全額県の補助金で、求職者雇用対策として5名を8ヶ月間臨時雇用し、観光ガイドとして週1回、計36回研修を行い、研修後は各種イベントにも積極的に参加して、将来的には地域のリーダー的な人材を育てたい。

グリーン・ブルーツーリズムの目的は、

これからの観光産業は一過性のイベントから健康を目的とした滞在型へ変わること考えるときにきている。このことから、自然豊かな西予市の農業・漁業を体験しながら民泊して頂き、人的交流の促進をはかる内発型の補助事業であり初期投資の12かつ100万円を限度とする補助事業です。



公共下水処理施設(稲生)

下宇和集落排水事業がなぜ中止になったのか

皆田地区と下川地区で協議を進めたが、下川地区は小型合併浄化槽の普及率が高いため、事業が決まり、皆田地区だけの事業では、設備投資効果が少ないことから皆田地区は公共下水に参入することによる中止です。また、下宇和の公共下水参入は平成29年の予定です。

農地法改正による農業委員会費75万は

平成21年6月農地法が改正され、管内の農地の利用状況を調査するための農業委員の費用弁償と調査を行うための地図製作費で22年度は宇和・野村を23年度に城川・明浜・三瓶を行います。これにより、耕作放棄地の色分けができて、今後の対策に役立てることができました。

公共事業の事務費が補助対象外になっているが、これからの見通しは

平成22年度以降は対象外になり一般財源で対応することになります。

所管事務調査

今回は、城川総合支所の調査を行いました。田穂地区では田の畦にセンチピートグラスの苗を吹き付けて草刈りの省力化を図り、高齢化が進む農業従事者にとって軽作業で済むことと、耕作放棄地の防止につながることを考え合わせれば、もっと普及を図るべきと考えました。

次に、木質ペレットの工場予定地と建物を調査致しました。当初予定より行程が遅れており工場稼働は来年3月になるとの説明がありました。

陳情

「南予地域から産出された木材を使った住宅建築促進のための市町単独補助事業の創設について」  
西予市ではすでに市単独補助事業を実施しているため

不採択



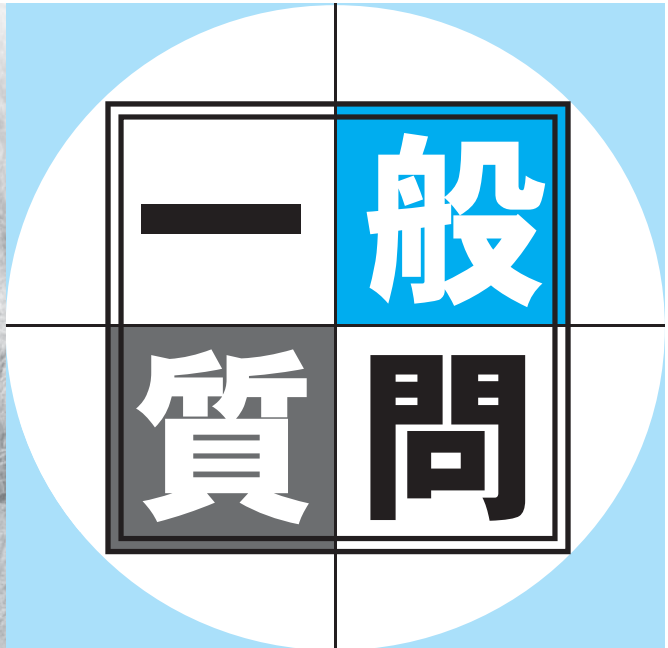
産業建設常任委員会メンバーです

産業建設常任委員会  
委員長 兵頭 学  
副委員長 明智 良勝  
委員 坂本 隆重  
二宮 元  
大竹 忠盛  
嶋川 武文  
小野 正昭  
二宮 一朗



さらなる観光客増を見込む(中町)



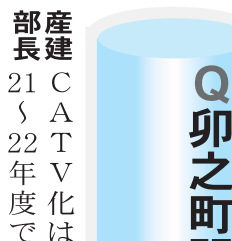


松山 清 議員

**問** 来年4月の新庁舎完成を多くの市民が心待ちにしている。第一別館の跡地利用は駅前再開発と関係があるが駅前広場計画についての理事者の考えは

**市長** 卯之町駅前の土地は西予市の顔であり玄関であるので、重伝建などの地域資源と連携して西予市の核として整備したい。平成23年度から庁内検討会を設置します。

**問** 市営住宅のCATVへの加入促進や公共下水道接続への対応は。団地などは共聴施設をCATVに繋ぐことになるが強制的に利用料が必要となるが、利用料は補助または家賃に含むべきではないか。今後、改修や建替えが必要だが計画は



**Q 卯之町駅前の整備を  
来年度から検討 A**

**産建 丸太橋付近改良の部長** 21〜22年度で取組んでおり、全戸加入を目指しています。利用料補助は考えていません。水洗化と合わせて本年度予算で1億600万円を見込んでいます。

**産建 丸太橋付近改良の部長** 重要性は理解しており検討課題として卯之町駅裏は県管理地であるが、概略設計を進めると協議していく。明間までのルートは、まず歯長橋から下流を森林整備と併せて道路網の設置を検討し、皆田地区内狭小区間は地元の要望を踏まえ検討します。



第一別館

**問** 脇川河川道路の整備計画は

西予市では念願である河川道路の整備を進めて来てるが、今後、若宮団地から丸太橋にかけての右岸の改良、卯之町駅裏付近の左岸の拡張、伊賀上パイパスから明間にかけての右岸ルートの整備計画を進めることはできないか

**問** 光ケーブルの全域整備を

CATV事業は今後の行政サービス拡充の面で重要な政策であるが、市

内の一部の地域やくら団地などに光ケーブルが張られていない。コスト的に個人で加入することは実質上困難なので幹線だけでも全集落を網羅できないか

**問** 庁舎のIP整備は

西予CATVが加入を開始してから1年が経過するが、IP電話の加入状況はどうか。内線電話を持つ事業所は、IPへの切替に機器の問題があるが、IRU業者の努力が不足していないか。初期割引は6月で終了だが延長が必要では。庁舎のIP化はできないか



小野 正昭 議員

**問** 来年度当初に三瓶総合支所は、福祉センターに移転の予定だが総合支所の建物及び跡地の活用方針について又庁舎玄関先にある町民のとくに子供たちの思いのこもったモニュメントについては、どのように取り扱う考えなのか、伺いたい

**市長** 昭和28年建築のため耐震面などで、他用途に再利用することは現状では適作とは云えなく、今後総合支所内に検討組織を立ち上げ、必要に応じ学識経験者や有識者の方にも参加を頂き跡地利用も含めた方向性を調査・研究し、意見の集約を図りたい。

**問** 止む無く廃校に至った下泊小学校を今後どのような方針、お考えをお持ちか、どのように活用していくのか、安全、衛生面の対応はどのようにしているのか



三瓶総合支所前のモニュメント

5校の小学校・中・高の児童生徒の皆さんなど、関係者の方々の、ご意向や思い入れを損なうことなく、尊重したものになるように努めて参りたい。

上で下泊小学校の有効活用を努めてまいりたい。又安全衛生面についても定期的に巡回をいたし注意を図りたい。

**Q 三瓶のモニュメントの取り扱いは  
組織を立ち上げ検討 A**

**教育 屋内運動場学校施設への部長** 設から社会体育施設への用途変更をし、施設の維持管理等については、地域や利用団体との協働を柱に協議・検討を行い有効活用を努める方針であり、その他学校施設につきましても、今後下泊地区の統一のな意見を執りまとめ「要望書」を提出して頂き全市の課題や財政状況等に鑑み地域の方々と十分協議・検討を行い、ご理解を得たい。

**問** 西予CATVの放送につき疑問及び不信の問い合わせが多くあり、そのような気持ちを持たれている町民が多いようですが、どのような説明をしたのか、このメリット、デメリットについて伺いたい





酒井 宇之吉 議員

**問** 市内の子供手当の状況は

**福祉部長** 子供手当該当者は4千797人で月額1万3千円の使用方法調査は、予定していません。

**問** 戸別補償(直接支払)制度について

**産建部長** 10aあたり1万5千円が交付され西予市の対象農家は5千20戸の内2千770万申請されています。全国では約30%西予市では約55%に なっています。

### Q 新政権約マニフェスト本市事務進捗状況について 戸別補償申請は55% A

**問** 高速道路の実験的無料化の対応について

**産建部長** 6月28日からの無料化に伴う交通量の変化は予測が困難な面はあります。愛媛県と南予9市町が連携し、「高速道路無料化記念スタンプラリー」を計画しています。

**問** 公の施設の在り方検討委員会仮称の設置計画について

**市長** 市では400以上の公の施設を管理運営してあります。今後、事業仕分ではありませんが、有識者等で構成する検討組織を設置し意見をいただきたいと考えています。

**問** 老人施設の増設について

**福祉部長** 本市の施設待機者数は特養老人ホーム介護老人健康施設を合わせ、昨年7月現在で389人です。施設を新たに整備することにより、市の負担と介護保険料の増額に影響することから、次期5期計画(24年度〜26年度)で整備計画を定めていきます。



職員駐車場

**問** 新庁舎に係わる駐車場の考え方について

**市長** 新庁舎完成後、本庁支所方式になります。本庁は50人程度職員が増加、駐車可能台数は500台から約450台に減少します。新庁舎開庁後の利用結果を踏まえ、新たな駐車場管理方法の検討を考えております。

### Q 繁殖和牛の素牛の育成を 県、JA生産者と連携して検討 A



兵頭 竜 議員

**問** 繁殖和牛の素牛を育成することは県外依存100%の西予市・愛媛県にとって急務である。生産者や県当局、JA等と連携をとって愛媛県産ブランド化は

**市長** 現在は、種雄牛の育成を行っておらず100%県外依存の状態です。今後は、県、JA等と連携を図り、開発研究を検討したいと考えています。

**TMRセンター構想**

**問** 飼料自給率の高い酪農を確立するために、地域連携によるTMRセンター構想を立ち上げる考えはないか

**産建部長** 現在設置している飼料混合施設の活用と併せ、西予市農用地利用耕畜連携検討会議を設立していますので、コスト、システムなど多方面で、関係機関、農家等とも連携を図りながら今後研究していきたい。

**埋却地の確保**

**問** 今回の口蹄疫で埋却地の確保が遅れたことが感染爆発に繋がったが、西予市の埋却地の確保はできているのか

**防災行政無線**

**問** 現在、防災行政無線は体系が統一されていない。宇和、明浜、城川には戸別受信機が設置され、在宅時には災害等の情報がキャッチできるシステムとなっているが、野村、三瓶には戸別受信機がなく、屋外放送が頼りで、家によっては聞こえない場所もあり苦慮している。この状態では有事の時に聞こえないことも予想され、早急な対応が必要であるが、理事者

は、生ごみや尿・浄化槽汚泥などを処理するエネルギー利用施設、電気や温水を供給するバイオマス発電機、メタン菌の働きで有機物を分解し、水稲や野菜等肥料として液肥の利用、排水処理施設整備により、浄化槽汚泥の上澄み水を微生物の働きによりきれいな水とし、施設内の洗浄水や各家庭の浄化槽の張り水として再利用します。また、地域のバイオマス賦存量を参考とし、検討してまいります。



戸別受信機



防災無線

また、災害発生時の住民への情報提供手段として、メールを利用した情報提供手段として注目していますが、メール配信システム提供企業も数多くあり、コスト性、運用性、操作性、システム技術性等の比較検討が必要であると考えます。



松島 義幸 議員

**問** 「西予市生き生き集落づくり事業実施要領」が制定され、地域活性化に大きな期待を寄せる。しかし、10年後には、超高齢化社会が予想され、抜本的な対策が必要となるが、長期的展望に立った具体的な対策は

**市長** 今後は、指定集落を拡大し「集落づくり計画」の策定により、集落の困りごと・やりたいことが具体的に現えてくる

### Q 高齢化社会の対策は 集落づくり計画策定から始める A

ので、その対処方法としての施策を効果的に打ち出すことが出来るかと考えております。また、施策の推進により、困りごとの解消や、やりたいことの充実が図れ、住民一人ひとりの安らぎや集落が元気になっていくものと考えております。しかし、過疎化・高齢化は増加の一途をたどっており、その対応として、地域振興部門の強化を図るとともに、公民館との連携を強化し、住民サービスの質を高め

ながら進めていきたいと考えております。



ペレット建設予定地(城川)

再生可能エネルギーへの転換や堆肥化等により、循環型社会の構築。農産物への付加価値、地域経済の活性化を図る理想的な構想だが、効率的な収集・輸送、変換利用システムや無理のない運営等々の課題もある。具体的な推進方法は

**産建部長** 今年度、間伐材の林地残材・製材端材を原料とした木質ペレット製造施設の整備。計画中



地域おこし設立総会(高山)





明智 祥勝 議員

**問** 現在、市においても年々耕作放棄地は増加の傾向にあり、要因は「高齢化・労働力不足」「農産物の価格低迷」「収益の上がる作物がない」などが考えられるが耕作放棄地面積等の実態は、また、農水省の耕作放棄地活用型バイオデール燃料事業の取り組みは考えられないか

**副市長** 平成20年度の農業委員会の調査では、人力・農業用機械で草刈り等を行うことにより、直ちに耕作が可能な土地約103ha、基盤整備を実施し耕作できる土地約15ha、合計



耕作放棄地

**Q 耕作放棄地対策は 国庫補助事業の活用で A**

で約118haです。約1.9%が耕作放棄地となっているのが現状です。耕作放棄地対策協議会を設置し、国庫補助事業の、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金により、補助金を交付し支援を行っています。実績は、耕作放棄地解消面積約15ha、約1千477万円を交付しています。耕作放棄地活用型バイオデ



汎用コンバイン

でも現役農家として、農業機械作業に従事しなければならぬ。農業は地域経済の柱の一つであり、不幸にして経営主を失うことは地域にも大きな損失である。農作業事故の実態を把握されているか。農作業事故撲滅の対策は考えられているか

**イ** ゼル燃料事業は、平成22年度から5年間実施されますが、厳しい要件をクリアしなければならぬ助成金交付事業であり、この事業を実施するのは制度上困難ではないかと考えています。

**問** 農作業死亡事故は、人口10万人当たり、12.7件で他産業に比べ格段に多い状況にある。農作業の安全対策は置き去りにされてきたと言わざるを得ない。市内でも農家の高齢化の中で80歳を過

**産建** 農林水産部の調査では、農作業死亡事故件数は、県では毎年10件程度発生しており、高齢者の占める割合は約7割となっています。市での農作業事故の発生件数は把握していません。現在市では、県からのパレットの配布に止まっていますが、今後死亡事故の防止を呼びかける立て看板の設置、防災無線での周知等で農作業事故に関する注意喚起を促したいと思えます。



山本 昭義 議員

**問** 限界集落を再生するため「生き生き集落の再生元年」と位置づけ、西予市独自の政策、「西予市生き生き集落づくり事業」について、尋ねます  
惣川地区での活動状況の周知不足ではないか

なりますので「できるものから始める。」を基本的に惣川出身職員も参加し、一つでも早く事業化しようとする努力しているところです。

**Q もう待てない 即行動を 計画を練ってから A**



悠遊学級田植え



舟戸分館マッチング事業



牛舎出入口の消毒

**問** 西予市の口蹄疫侵入防止策について  
**産建** 西予市への侵入防止対策については、県農協と協議し5月上旬に消毒液を配布、消石灰配布を行っており水際で防御するしかないと考えています。市民への周知については県家畜保健所と連携し広報紙面にて行っております。

のむら **市民の放課後**

のむら



平成19年に、西予市ではスポーツ立市を掲げ、スポーツ振興計画が策定されました。5町それぞれに総合型スポーツクラブの設立を目指すことになり、野村町では昨年8月に、体協役員、体育指導員、競技団体責任者、保健師等17名で準備委員会を構成し取り組みを開始しました。22年4月からは、イベント等を実施するとのきのボランティア協力員12名も参加していただくようになりました。

**野村町総合型地域 スポーツクラブ 設立準備委員会**



市長も参加してのサッカー教室



ノルディックウォーク教室

最初は「今すでに、自主的な健康作りのために様々なスポーツ等を行っているので、それ以上のクラブを作る必要はないのでは？」との意見が大勢でした。研修や会議を重ねる中で、みんなで行う活動理念を決定しました。

- ・地域の子供たちを地域みんなで育てる
- ・誰もが健康で豊かに暮らせる町づくり
- ・豊かな人間関係のあるいつまでも住みやすい町づくり

子供たちのスポーツ活動育成強化、有名選手を招いてのスポーツ教室開催、趣味のスポーツ、健康教室、イベントや行事の開催等、総合的に活動を計画し来年3月にはクラブを設立する予定です。これから各種イベント等を計画し周知致しますので、皆様の参加をお待ちしております。

この活動を通して、寝たきりにならない、ポケない、病気をしない、一人ぼっちにならない、国保に頼らない、健康で元気な野村をつくりたいと思



雨の中で保育所の芝生植え

関連事業として、学校PTA、保護者、地域の皆様と共に、県下で初めて野村中学校グラウンドの完全芝生化ができました。また、野村保育所グラウンドも6月26日に芝生化になり、維持管理を当クラブで行う予定です。

(野村地区でのクラブ協力員を募集しています。野村公民館まで連絡下さい。)



### 男女共同参画社会実現にむけて 菊地ミスキ



平成11年男女共同参画基本法が制定されて以来、議会の中で長い間、女性議員ゼロの時代は終り、現在は、全国的に市議会

で女性議員が千人を越えています。西予市も女性議員一人ではあります。男性議員と対等に議員活動をしており、議員各位のご理解とご協力。昨年、副議長をさせて頂きました。引き続き、今年も総務常任委員長に就任いたしました。6月21日に、定例議会で総務常

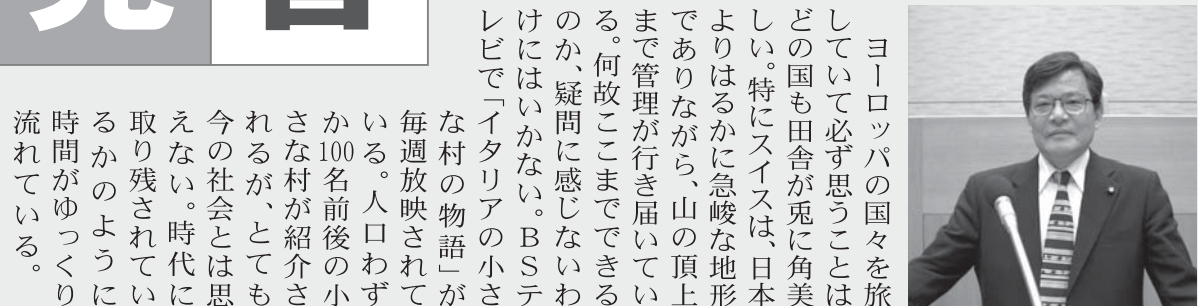


女性の集い

任委員会に附託されました。前向きで活発な質疑応答がなされ意義ある委員会でした。閉会中の委員会活動として、テーマを定めて、専門的な知識も学び下調べ、予備調査を目的として精力的に所管事務調査を行いましたと考えています。先日子和地区の婦人会の集いで、「教えてガッテン!!」習って納得!!の会

にお招きいただき参加しました。会員の皆さんの新しい発想の作品発表や料理レシピ。又おば知恵等々の発表は、ゴミ減量化、エコ福祉活動も実行されていきました。会員が自主的に出来ることは積極的に取組もうという意気込みには、女性パワー全開の輪が広まっていることを実感しました。すばらしい賢い女性の皆さん、是非共、女性議員として議会に参画していただき、より良い、安心安全な幸あるまちづくりに力を発揮していただきたいと思います。大切に願っています。

## 自由発言



### スローフードな時代

元親孝志

ヨーロッパの国々を旅して、必ず思うことは、どの国も田舎が兎に角美しい。特にスイスは、日本よりはるかに急峻な地形でありながら、山の頂上まで管理が行き届いている。何故ここまでできるのか、疑問に感じないわけにはいかない。BSテレビで「イタリアの小さな村の物語」が毎週放映されている。人口わずか100名前後の小さな村が紹介されるが、とても今の社会とは思えない。時代に取残されているかのよう、時間がゆっくり流れている。



イソップ物語

色彩が統一された村の建物は、遠くから見ると、あたかも全体が一つに見えるほど良く調和している。しかも決して平坦地に建っているわけではない。路地は、狭くて曲がりくねっている。当然自由に車が行き交い出来る訳でもない。しかし必ずといっていいほど路面は石を敷き詰めてある。見る分には申し分ないが、決して生活するには合理的ではない。村には何処にも一通りの職人がいる。家具の修理職人もいれば、パン職人もいる。花屋さんがある。こんな仕事でどうして食べていけるのか

と思うほど、経営は小規模である。しかし、彼らには自信と充実感が見て取れる。食事は決して豪華ではないが、地域の食材をうまく利用している。「スローフード」の発祥地イタリアは、今尚健在である。さて私も決してイタリアとは比較にはなりません。スローフードの考え方は良く理解できます。急ぎすぎた経済成長は、田舎の生活形態を全く狂わせてしまった。全ての価値観がお金という物差しで計る癖が付いてしまったせいである。その結果素晴らしい文化をことごとく破壊しようとしている。文化とは非効率の追求であり、お金儲けとは、効率の追求に他ならない。文化を取るのか、或いはお金を取るのか。スローフードにはそれなりの覚悟がある。私なりのチャレンジを始めているが、結果はこれからである。小さな村の山の上に、スローフードの拠点として里山喫茶「イソップ物語」を3年前にオープンした。

# 明浜町水産業の現状について

~特集~

## 水産業の苦悩はつづく



波静かな法華津湾

### 水産業の現状(明浜)



清水工組合長

■漁業の現状は 田之浜の大崎鼻から伊津の小大崎までの法華津湾北側が明浜町の魚類・真珠養殖をはじめ、機船船曳(チリメン)、一本釣り(チリメン)の主な漁場です。魚類養殖は11業者でタイ、ハマチ、シマアジ、ヒ

ラメ、フグなどです。真珠養殖は15業者、機船船曳は10統でチリメン漁を営んでいます。真珠養殖は昭和30年代初めに導入されてから50年以上の歴史があり、愛媛県漁連宇和島支部の入札を通じて全世界へ販売されています。



船つき場

■現在の課題は 10年前のアコヤガイの大量斃死の問題から生産量が落ち、このところの景気悪化で真珠の価格が低迷しております。魚類養殖も魚価安、餌

の景気悪化で真珠の価格が低迷しております。魚類養殖も魚価安、餌料の高騰、機船船曳は漁獲量の低下、燃油高での漁種も取巻く環境は苦しい状況にあります。ただ世界的規模で進む水産資源の枯渇から魚類養殖の先行きは明るいといわれますが、後継者不足や販売力強化が課題です。

■真珠の展望は これまで2系統あった入札会が愛媛県真珠養殖組合の解散により漁連のみとなり影響が心配されますが明浜の生産者は「宝石」として、より価値ある真珠の生産に日夜努力をしております。

真珠も景気に左右されるとはいえ、法華津湾で生産される明浜、吉田の真珠は宇和島産としてミキモト真珠等の有名店で販売されています。西予市のどんぶり館でも明浜の生産者が真珠を販売しています。簡単な

	平成20年3月末		平成21年4月末	
	数量(kg)	金額(千円)	数量(kg)	金額(千円)
機船船曳(チリメン)		91,848		106,650
魚類養殖	1,293,984	942,151	668,799	519,617
真珠	311	226,079	303	120,447
合計		1,260,078		746,714

	平成22年5月末	
	数量(kg)	金額(千円)
機船船曳(チリメン)		146,201
魚類養殖	625,698	404,646
真珠	345	204,553
合計		755,400

20年対比では大幅減収!!



真珠の核入れ作業